



令和4年8月12日

各位

会社名株式会社 s M e d i o

代表者名 代表取締役社長 岩本 定則

(コード番号：3913 東証グロース)

問合せ先 取締役経営企画室長 北 埜 弘剛

(TEL. 03-6262-8660)

### 営業外収益(為替差益)の計上および令和4年12月期通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、令和4年12月期第2四半期連結累計期間（令和4年1月1日～令和4年6月30日）において、下記のとおり、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、令和4年2月14日に公表しました令和4年12月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 営業外収益(為替差益)の内容

令和4年12月期第2四半期連結累計期間において、急激に、外国為替相場が円安方向に進んだことにより、為替差益19,726千円を営業外収益に計上いたしました。

上記の金額は、当社グループが保有する外貨建債権債務等の決済及び評価替えにより発生したものであります。今後の為替相場の状況により、この金額は変動いたします。

##### 2. 業績に与える影響について

上記の営業外収益(為替差益)につきましては、本日公表の令和4年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)に反映しております。

### 3. 令和4年12月期通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	875	20	20	4	2.52
今回修正予想(B)	875	30	40	27	12.43
増減額(B)-(A)	+0	+10	+20	+23	
増減率(%)	+0.0	+49.4	+99.6	+472.3	
(ご参考)前期実績 (令和3年12月期)	722	6	12	1	0.57

(注) 1株当たり当期純利益は、令和4年7月末時点の発行済株式総数2,348,521株から自己株式96,892株を控除した、2,251,629株を用いて算定しております。

### 4. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高417百万円は、前回発表予想の通期予想に対して、47.7%の進捗となっております。進捗率としては悪いものではありませんが、円安による底上げが含まれた数値であると認識しております。

当第2四半期連結累計期間において、半導体不足は続いておりましたが、期初に見込んでいたように、第3四半期連結会計期間以降、徐々に、半導体不足は緩和される状況であると想定しております。

半導体不足に関する状況は概ね想定通りであります。当社の主な収益源であるロイヤリティ収入に関連した顧客製品の動きが、当社が想定していたよりも悪く、また、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした海外情勢の変調が長引いており、動きの回復が後ろ倒しになる事態も考えられる状況にあります。

#### (連結売上高)

ロイヤリティ収入に関連した顧客製品の動きの回復の後ろ倒しによるマイナスの影響と、円安によるプラスの影響を加味すると、円建てでは、両者が相殺される形となり、連結売上高は、前回発表予想と同程度の875百万円になると見込んでおります。

#### (連結営業損益)

当第2四半期連結累計期間の営業利益11百万円は、前回発表予想の通期予想に対して、56.1%の進捗となっており、円安が利益率向上に寄与することもあり、連結営業利益は30百万円を見込んでおります。

(連結経常損益)

当第2四半期連結累計期間の経常利益31百万円は、前回発表予想の通期予想を上回っております。これは、為替相場が円安になっている影響で、為替差益19百万円を計上したことが寄与しております。

一時、1ドル=139円台となった為替相場は、令和4年8月には、1ドル=130円台前半から半ばの水準となっていることから、第3四半期会計期間以降に、為替差益の縮小と、令和4年7月に実施しました第三者割当増資に関する株式発行費用(営業外費用)2百万円を織り込んで、連結経常利益は40百万円を見込んでおります。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円は、前回発表予想の通期予想を上回っており、連結経常利益の増加を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益は27百万円を見込んでおります。

(1株当たり当期純利益に用いた株式数)

令和3年7月に実施した第三者割当の結果、発行済株式総数が306,000株増加したことで、前回発表予想の1,935,629株より増加し、2,251,629株となっております。

(為替前提)

第3四半期連結会計期間以降における為替水準は、直近の為替水準が続くと想定し、通期の平均為替レートを下表のように想定しております。

	米ドル	中国・人民元
通期平均	127.00円(113.00円)	20.00円(18.00円)

※( )内は、変更前の想定為替水準。

(注)上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。また、令和4年7月にKiwi Technology Inc.との資本業務提携により開始しました、IoTソリューション事業につきましては、連結業績への具体的な影響額は未定であり、本日公表いたしました令和4年12月期通期連結業績予想には織り込んでおりません。今後、公表すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上